

令和7年度第3回印西市総合教育会議に関するアンケートについて

テーマ「教員の働き方改革」

※会議の様子は市 YouTube チャンネルからご覧いただけます。

令和7年度第3回会議のアーカイブは次のとおりです。

<https://www.youtube.com/watch?v=r79qX0asddM>

いただいたご意見（今回のテーマについて）

- ・各学校の教育目標によって学習も行事も存在するわけでしょう？ 目標外のものはないですか？ これを削減するのは校長の責任です。根本的には給特法の廃止ですね。時間外には在校できないように管理職による「労務管理」をしっかりとやることです。
- ・学校や行政だけでなく、保護者・市民の側がどう変わらなければならないのかについても議論したい。
- ・市の教育現場の現状が知れてよかった。妹尾先生のコメントは、実際の現状を踏まえての回答で納得感があった。
- ・市長への手紙に意見、提案を書かせて頂きましたので、見て頂けたら嬉しいです。
- ・市内で不登校の子どもの居場所をしております。

●学校や行政だけでなく、みんなで改革を 教育現場の過酷な現状を知り、まず、現場の先生方の背中をさすってあげたくなりました。教職員の働き方改革は確かに、学校現場、行政でやれることはまだまだあるのかもしれませんが、変わるべきは、学校や行政だけではなく、「保護者、市民の意識」なのではないかと。普通なら、とっくに匙を投げるくらいの労働環境の中で、子どもたちの幸せを願い、あらゆる理不尽に耐え、やって当たり前、やれて当たり前の環境下で、実直に頑張ってこられた先生方の我慢の上に成り立ってきた部分もあるのかもしれない…そう感じました。過酷な現状を知った今、一保護者として、地域の一員として、不登校と関わる人間として、自分にできることを精一杯やっていきたいと思いました。

●保護者からサポーターに わがフリースクールの実践をひとつ。立ち上げ当初は、子ども同士でトラブルや喧嘩が起これば、すぐに加害者、被害者になり、フリースクールの責任が問われたり、サービスを提供してもらって当然のお客様の意識の方々も多く、その現状に違和感を感じ、ある取り組みを実践することにしました。それは、「みんなの学校」で有名な「大空小学校」の取り組みです。毎年、入学式の校長のスピーチで、「保護者という名前はシュレッターにかけて下さい。今日から皆さんは保護者ではなく、サポーターです。お茶を飲む時間があったら、学校に来て困っている子のそばに寄り添って下さい。」という内容。当団体は、ここまで強烈なことは言いませんが、現在は、保護者サポーター制度を導入し、30分でも来れる時に、子どもたちに寄り添って頂いたり、調理や会計作業等、あらゆる分野で自分にできることをやって頂いています。あれから2年、お客様から共に居場所を創る仲間に！うちの子、よ

その子から、みんなで子育てを！親同士で支え合う繋がりも生まれています。できる人ができることをやる！それで十分で、大事なことは、自分には何ができるのか、この意識にもっていけるかどうかが重要な鍵かと思います。こういった課題解決の糸口として、コミュニティ・スクールの実践に取り組まれていると思いますが、是非ご参考になればと思います。

- SOSの重要性 当団体は、「私たちは、困っている」「私たちは、子ども一人ひとりを大事にしたい」「私たちは、子どもたちに安心して過ごしてほしい」「そのために、助けてほしい」このメッセージを何度も何度も保護者に送ってきました。規模も仕組みも違うし、公的な機関は特に言いづらいこともあるのかもしれませんが、子どもを大事に思うからこそ、SOSを出すことも重要かと思いました。
- コミュニティ、助け合える環境をお願いせずにつくる SOSを出すことも重要でありながらも、こういったコミュニティ、助け合える環境をいかに自然に作り出せるか、そのアイデアも必要だと感じました。これから創る学校は、例えば、学校のど真ん中に素敵なカフェ&図書館をつくり、それを起点に、保護者や地域の方々が来やすい環境にして、教室が苦しい子は、いつでもそのカフェ&図書館にいけて、そこにいけば、地域の誰かがいつでも温かく見守ってくれる。そんな温かい世界観を学校内につくれたら！子どもに「まず安心」を提供するのに、資格など必要ありませんね。
- ・ コミュニティ・スクール推進！ 印西市の新興住民にとって学校とともに地域づくりをする基盤です。
- ・ 長尾委員が発言された内容はとても貴重。まち全体で学校を支援し、教育によってまちを育てる。そのためにはコミュニティ・スクールを早急に導入すべきです。
- ・ 保護者として、子育て支援に関わるものとして、最後の教育委員の出された課題、保護者への理解と協力、学校と同じ方向を向いて取り組めるような仕組みを市の取り組みとして考えていただけると嬉しい。最後に市長がタイムマネジメントとおっしゃっていましたが、前々回も終了時間を問い合わせたときに、決まっていないという返答でした。今回も終了時間が明記されておらず、困りました。また、本日の講師の先生は直接お会いできると思って楽しみに来たので、来てからオンラインだとわかり残念でした。告知の時に明示していただけたら、オンライン参加にしたかもしれません。ただ、会場で生の声を聞けてよかったです。傍聴があつてよかったです。

※いただいたご意見につきましては、教育ビジョンの策定及び教育施策を進めていく上での参考とさせていただきます。

事務局より

今後、講師の方がオンラインでご講演をいただく場合は、開催のお知らせにてその旨を記載してまいります。